

平成19年6月7日
消 防 庁

音以外の光や振動で火災の発生を知らせる住宅用火災警報器 に関する調査・研究報告書の公表

～住宅用火災警報器の音以外の警報に係る調査・研究報告書～

聴覚障害者及び難聴者（加齢に伴う難聴を含む。）の方々に、火災の発生を知らせるためには、音に加えて光や振動などを用いた警報手段が有効とされています。

このような中、消防庁に設置した「住宅用火災警報器の音以外の警報に係る調査・研究検討会」（委員長：野村歡 国際医療福祉大学大学院教授）において、平成17年度からの2カ年にわたり、音以外の光や振動を用いた警報機器について調査・研究を行って参りました。

今般、その最終結果を報告書にとりまとめましたので、お知らせします。

【資料】

- （別添1）「住宅用火災警報器の音以外の警報に係る調査・研究報告書」の概要
- （別添2）「住宅用火災警報器の音以外の警報に係る調査・研究報告書」の全文

【お問い合わせ先】

消防庁予防課規格係

担 当：井上係長、工藤事務官

電 話：03-5253-7523（直通）

FAX：03-5253-7533